

開かれた学校づくりを目指して

No. 2

令和6年3月15日
愛知県立豊橋西高等学校

豊橋西高等学校では、本年度の重点目標を「寛容さと愛情をもって、是々非々毅然とした指導を貫く中で、自尊の感情と自己有用感を育成する。」「基礎基本を大切に分かる授業を工夫しながら展開し、指導と評価の一体化を目指す。」「安易な進路選択に流れないように本物の学力を身に付けさせ、良き社会人になるための資質の形成を目指す。」と定め、分野別に重点目標を設定し、その達成を目指して努力してきました。年度末にあたり、2学期末に実施しましたアンケート結果（教職員・生徒・保護者）と、中学校の先生方や学校評議員の方々の御意見を踏まえて、この1年間の取組の成果と反省をまとめました。（四角枠内は各分野の本年度重点目標です）

〈学習指導〉～個々の習熟度に応じた学習指導と規律ある学校を目指して～

○ 学習指導方法の工夫と改善を図る。

各教科会において昨年度の学習マネジメントシートを本年度の授業計画に活用するとともに、来年度に向けての授業内容の振り返りと改善方法についての協議を行った。家庭学習については肯定率が低いため、引き続き学習習慣の定着を図る方法について模索したい。

〈進路指導〉～夢の実現を目指して～

○ 進路目標の早期確立とその実現に向けての取り組みを促す。

今年度も、外部講師や本校職員による進路講演会等の進路行事を予定どおり実施し、生徒の進路目標の早期確立を促すことを目標に取り組んだ。また、3年生に対しては職員全体で就職希望者及び推薦入試受験者に対し面接、小論文指導を行い、成果を残すことができた。今後も進路講演会などの行事を通して、自己の進路について具体的に考えさせ、進路目標の設定が遅れる生徒には学習習慣の見直しや、進路意識を高める指導を充実させていきたい。

〈生徒指導〉～基本的な生活習慣の確立を目指して～

- *「STOP600」をスローガンとして遅刻件数の減少を目指す。
- 交通安全指導、いじめの早期発見などを通して命を守る教育を行う。
- あいさつ溢れる、明るい、活気ある学校を目指す。

一部の生徒の多遅刻により、遅刻600未満は達成できなかった。今後、保健部と相談や連携していく必要がある。「35チェック」ルールの浸透はよく、8時35分までに正門を通過できる生徒が多かった。

あいさつに関しては、気持ちよくあいさつできる生徒が多かった。普段からあいさつする環境作り努めていきたい。

*「STOP600」とは、生徒の年間累計遅刻数を600回未満にする目標です。

〈生徒会〉～生徒会活動の充実を目指して～

- 生徒が学校行事に主体的に参加し自ら運営できるようにする。
- 家庭や地域に活動の様子を発信していく。

生徒会の生徒を中心に、ちきり祭ではキッチンカーや地域と連携をした催し物があり、各系列や総合の時間での取り組みの展示も行い、特色ある発表をすることができた。行事や能登半島地震募金など、生徒主体で積極的に行動をとることができた。生徒の取り組みをホームページ等で発信し、西高校の魅力を伝えることができた。

〈PTA活動〉～PTAの充実を目指して～

○ 持続可能なPTA活動体制づくりを進める。

本年度はちきり祭のPTAバザーにおいて、準備段階から常任理事や理事が中心となって行い、その結果、昨年度よりも規模を大幅に拡大して実施し、好評を博した。この協力体制を維持しつつ、今年度、「学校をきれいにする運動」で生徒会と協力して行った花壇づくりなど、生徒と協力して行う機会をもう少し増やしたい。

〈防災学習〉～防災学習の充実を目指して～

○ 防災意識を向上させる。

2学期に行った風水害についての防災学習において、被災したときの状況をハザードマップ上でシミュレーションすることで、災害に対する我がこと意識を育んだ。次年度は日常から防災についての意識を育み、例えば専門家を呼んでの講演会を実施することや、教員向けの防災学習の機会を設けることなどを検討している。

〈学校保健〉～落ち着いて学ぶことのできる学習環境を目指して～

○ 多様な生徒の心身の健康に配慮した適切な対応と、学習環境の整備に努める。

朝の健康観察や多くの教員が目で常時健康観察を行い、個々の生徒の健康状態を確認している。養護教諭、担任、相談係等が連携して情報共有に努め、要望がある時には保護者との面談も行った。悩みのある生徒を早期に支援できるよう、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、外国語支援員等の専門スタッフとも、一層連携を深められるようにしていきたい。

生徒に環境美化への意識を育み、校内美化・ゴミ減量化のため「自分の出したゴミは持ち帰る」という姿勢は定着しつつある。今後も学習環境を清潔に保つことへ主体的に取り組めるよう啓発したい。

〈図書館活動〉～読書活動の充実を目指して～

○ 図書館利用促進のための方策を模索する。

「朝の読書」に対する生徒の肯定率は、90パーセント近い。しかし、図書への貸し出し率は高いとは言えず、特定の生徒が利用する状況が続いている。委員会活動をより活性化させ、図書館利用者を増やしたい。また、行事や授業等で図書館を有効利用できるよう、蔵書・設備の充実に心がけたい。

〈現職研修〉～教職員の資質向上を目指して～

○ 現職研修や教育実習について各分掌と連携する。

○ ワークライフバランスを意識した環境整備に努める。

現職研修についての教員の肯定率は85パーセントを超えている。より充実した研修が行えるよう、情報収集や創意工夫に努めたい。一方で、多忙化解消に向けたワークライフバランスについては50パーセントを切る肯定率である。各分掌の連携をより密にし、仕事内容の見直しを行って業務のスリム化を目指したい。

〈教育情報〉～情報セキュリティの向上を目指して～

○ 情報機器を安全に運用する。

Classiを始めとするクラウドサービスを円滑かつ安全に利用できるように努めた。また、生成AI等、日々刻々と変化する状況に対応できるよう、情報収集に努めた。生徒用タブレットを活用する機会が増えており、安全にICTを活用できる体制づくりに取り組んでいきたい。

〈総合学科推進〉～地域と連携した教育活動を目指して～

○ 地域と連携した有意義な教育活動を推進する。

○ 効果的な広報活動を行う。

産業社会と人間において企業と連携をした探究活動を実施した。さんしゃDayでは企業や団体を訪れ、生徒が進路について考えるきっかけとなった。また、広報活動についてはHPやInstagramの更新をした。今後も校内の活動について知っていただくためにこまめに更新をしていきたい。

豊橋西高校のホームページを御覧ください。

(<https://www.toyohashinishi-h.aichi-c.ed.jp/cms/>)

学校行事や生徒の活動の様子などを紹介しています。